

# 女性交流登山

## 2022年度の活動報告

各会会員の交流と、安全登山につながる登山計画立案・地図読み・ロープワーク・山筋ゴーゴーなど、技術の反復練習と向上を目的に活動してきました。

昨今、コンパニオンレスキューの重要性が言われる中、今年度は救助隊が持つロープワークの技術を会員に確実に伝承すること、自分と仲間の安全を確保して登山を楽しむことに重点を置き、救助隊員の指導・協力を得ながら実施しました。

各会担当者は、事前に救助隊から技術講習を受け（9月10日、大屋富ゲレンデ於）、当日は担当者が中心となり運営しました。

1) 第10回女性交流登山を行いました。

①日 時：10月23日（日）晴れ 実施主体：各会

②参加者：41名（県下8団体、男女混合、若年層の参加あり）

③場 所：善通寺の五岳山

Aコース：善通寺五岳の里～大阪峠～筆の山・香色山

あけぼの（10名）、観音寺H（4名）、山歩会（6名）、高松H（1名）、五色（1名）

Bコース：善通寺五岳の里～大阪峠～我拝師山

善通寺（3名）、高松（4名）、しわく（12名）

④実施内容 計画書作成、全体集会、ラジオ体操、地図読み、無線交信、

ロープワーク：ロープ携帯方法・簡易ハーネス

支点構築・クローブヒッチ・ムンタヒッチ・ムンタ引き上げ

引き下ろし・マッシャー・ロープのブレーキング技術

⑤反省・感想

山の中で実際に行い、救助隊から基本技術を学べたことで、難しくもあったがよく理解できました。少しできるようになると興味がわき、繰り返しロープワークをすることの大切さが分かりました。他の会と交流できたことはとても貴重な機会です、今後も実践的な実技を希望します。

## 2023年度の活動方針(案)

1) 女性会員が中心となり、交流や技術向上のための行事を行います。

2023. 10. 22(日)に交流登山を実施 主管は観音寺あけぼのと観音寺ハイク

2) 県連各部と協力し、8団体すべてで準備会から協働します。

3) 若年層が魅力を感じ、参加できる実施内容を計画します。

4) 全国連盟主催の女性委員会行事に参加します。